

施策評価シート

施策等名称	循環器疾患対策	体系番号	0101010502
		主管課	健康づくり推進課

1 施策基本情報

現状と課題	特定健診の受診者で重症高血圧の人の率が、県内19市中トップとなっています。脳血管疾患を発症している方のうち、発症してから高血圧の治療が開始されている方もみられます。また、健診を受けても、高血圧の治療につながらない方もいたり、降圧薬を飲んでも高い状態の方がいます。 メタボリック該当者と予備群の方が減少していません。 特定健診の受診率は、目標に達していません。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	市民の皆さんが、特定健診を受けることで、自分のからだについて知って、健康を保つために行動できるようになることを目指します。特定健診を受ける人を増やし、健診結果により保健指導を行います。高血圧の人についても個別に保健指導を行い、家庭血圧の測定をすすめ、必要な治療につなげます。高血圧についての正しい知識をもていただくような働きかけを行います。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
①	虚血性心疾患の死亡 男性 65歳以上の年齢調整死亡率	年齢調整した虚血性心疾患の死亡率(率)	23.40	19以下
②	虚血性心疾患の死亡 女性 65歳以上の年齢調整死亡率	年齢調整した虚血性心疾患の死亡率(率)	12.70	11以下
③	40～64歳の高血圧の割合	血圧180mm/110Hg以上の人/受診者(%)	0.50	0.00

施策の柱 1	名称	循環器疾患対策	主管課	健康づくり推進課				
	詳細	循環器疾患のリスクを減らすため、健診を受けやすい環境の整備を進めるとともに、保健指導等により市民一人ひとりが健康管理を行えるよう支援します。						
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	虚血性心疾患の死亡 男性 65歳以上の年齢調整 死亡率	年齢調整した虚血性心疾患の死 亡率(率)	23.40	19以下	1	特定健診事業	実施
						2	40歳未満健診事業	実施
	2	虚血性心疾患の死亡 女性 65歳以上の年齢調整 死亡率	年齢調整した虚血性心疾患の死 亡率(率)	12.70	11以下	3	後期高齢者健診事業	実施
						4		
	3	40～64歳の高血圧の 割合	血圧180mm/110Hg以上の人/受 診者(%)	1.20	0.00	5		
						6		
	基本政策間連携							
	施策の柱 2	名称		主管課				
		詳細						
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
1						1		
						2		
2						3		
						4		
3						5		
						6		
基本政策間連携								
施策の柱 3		名称		主管課				
		詳細						
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1					1		
						2		
	2					3		
						4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携							

2 指標等の推移と変動要因

体系区分		成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指標No.			中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)					
施策		虚血性心疾患の死亡 男性	23.40	20.90	18.50	16.90	15.70	11.20	11.10
1		65歳以上の年齢調整死亡率	19以下	56.82	111.36	147.73	175.00	277.27	279.55
変動要因等	2018年度	実績は、把握している直近の数値でH24～28年の平均値。リスクの高い方への受診勧奨や保健指導を行っている。							
	2019年度	実績は、把握している直近の数値でH25～29年の平均値。減少し、目標値を達成している。							
	2020年度	実績は、把握している直近の数値でH26～30年の平均値。減少し、目標値を達成している。							
	2021年度	実績は、把握している直近の数値でH27～R1年の平均値。減少し、目標値を達成している。							
	2022年度	実績は、把握している直近の数値でH28～R2年の平均値。減少し、目標値を達成している。							
	2023年度	実績は、把握している直近の数値でH29～R3年の平均値。減少し、目標値を達成している。							
施策		虚血性心疾患の死亡 女性	12.70	11.90	9.90	8.40	6.70	5.90	5.00
2		65歳以上の年齢調整死亡率	11以下	47.06	164.71	252.94	352.94	400.00	452.94
変動要因等	2018年度	実績は、把握している直近の数値でH24～28年の平均値。リスクの高い方への受診勧奨や保健指導を行っている。							
	2019年度	実績は、把握している直近の数値でH25～29年の平均値。目標値を達成している。							
	2020年度	実績は、把握している直近の数値でH26～30年の平均値。目標値を達成している。							
	2021年度	実績は、把握している直近の数値でH27～R1年の平均値。減少し、目標値を達成している。							
	2022年度	実績は、把握している直近の数値でH28～R2年の平均値。減少し、目標値を達成している。							
	2023年度	実績は、把握している直近の数値でH29～R3年の平均値。減少し、目標値を達成している。							
施策		40～64歳の高血圧の割合(180/110以上)	1.20	0.87	0.92	1.38	1.20	1.20	1.00
3			0.00	27.50	23.33	-15.00	0	0	16.67
変動要因等	2018年度	若年の高血圧者の割合は増加してしまった。							
	2019年度	1,198人中11人が重症高血圧だった。若い年代の方は特にリスクが高いため、保健指導を特に強化していく必要がある。							
	2020年度	昨年度よりも高血圧者の割合が増加している。コロナの影響で受診率自体も下がっていることも影響したかもしれない。							
	2021年度	コロナ禍で健診受診率が下がっているので評価が難しい。							
	2022年度	受診率はやや増えてきているが、高血圧者の割合は減少していない。							
	2023年度	高血圧者の割合は、減少傾向。							

施策等名称	循環器疾患対策						体系番号	0101010502	
							主管課	健康づくり推進課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

評価	項目		2018年（前年度比）		2019年（前年度比）		2020年（前年度比）		2021年（前年度比）		2022年（前年度比）		2018年～2023年（総括）	
	投資額	事業費(円)	52,183,277		54,543,529	1.05	49,111,232	0.90	50,012,989	1.02	54,449,587	1.09	61,363,958	1.13
		うち一財(円)	1,095,510		939,548	0.86	1,061,766	1.13	0	0.00	1,436,827	0.00	1,181,005	0.82
		増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合 に記載)							予算の組替あり 40歳未満健診は国保予算へ、R3年度は一般財源から補助金等で振替えたため。				健診受診者、特に75歳以上健診受診者の増加。	
	進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている		やや遅れている		やや遅れている		やや遅れている	
総合評価		主な取組内容や成果	特定健診の実施率向上に向けて受診勧奨を行った。高血圧の治療中断者や重症高血圧者に訪問指導を行った。後期高齢者健診では、受診案内を個別発送し、受診者が増えた。		特定健診を受けてもらうことが出発になるので、なるべく多くの方に受診していただくよう、職員全員で受診勧奨を行った。高血圧の講演会を開催し、多くの市民の皆さんに高血圧対策が必要であることを知っていただいた。		コロナの影響もあったが、特定健診や保健指導を例年どおり行った。冬場の集団特定健診は、医療機関で受けそびれた方の受け皿となり、実施できた。		コロナの影響もあったが、医療機関での特定健診や保健指導を例年どおり行った。集団特定健診は、コロナの感染レベルが上がリ、中止となってしまった。尿中塩分測定を実施し、食事や運動等の生活習慣の改善に興味を持ってもらえた。		(R4評価)ハイリスク者を中心に受診勧奨をした。尿中塩分測定を実施し、生活習慣の改善に興味を持ってもらえた。広報ちので「高血圧特集」を掲載した。高血圧予防のチラシを作成し、健診結果通知で配布、講座等で活用した。 (総括評価)健診受診率を上げる取組を行っている。		2019年度までは、特定健診の受診率を上げる取組や、高血圧の講演会を行うなど順調にできていた。2020年度からは、コロナ禍でもできることを継続し高血圧対策を行ってきた。個別指導を継続。また、広報特集号、高血圧についてのパンフレットを作成し健康教育を行ってきた。	
		課題	特定健診を受けた人の高血圧者が減少していない。特定健診の受診者は、対象者の減少もあり、減ってしまった。		若年の人の高血圧が、今年度も減少しない。他市町村と比較しても高血圧の人が多い状態が続いている。		受診率が下がってしまったこと。高血圧者が増加していること。		受診率が下がってしまったこと。高血圧者が増加していること。		(R4評価)特定健診の受診率がコロナ前に戻っていない。健診の有所見者の割合が高いまま推移している。 (総括評価)特定健診の受診率がコロナ前に戻っていない。健診の有所見者の割合が高いまま推移している。		特定健診の受診率を上げてきたが、コロナの影響で下がってしまい目標値に達していない。高血圧者の割合が、県内と比較するとかなり高い状態が続いている。	
改革・改善	改革・改善内容		高血圧の人を対象とした市民公開講座を2019年度に企画する。高血圧者への保健指導、心臓疾患についての学習を通じ、質の高い保健指導を目指す。		高血圧対策として個別指導が大切になる。保健指導の質の向上や医療機関との連携についても検討をしていく。		血圧記録手帳を配布することにより、高血圧のまま放置する人を減らす取組をしていく。医療機関にも置いてもらい、医師との連携をとっていく。		血圧記録手帳を配布することにより、高血圧のまま放置する人を減らす取組をしていく。医療機関にも置いてもらい、医師との連携をとっていく。		(R4評価)血圧記録手帳を配布することにより、高血圧のまま放置する人を減らす取組をしていく。医療機関にも置いてもらい、医師との連携をとっていく。 (総括評価)高血圧対策として、ポピュレーションアプローチと個別指導を実施している。		血圧記録手帳の活用、保健指導内容の工夫により、高血圧のまま放置する人を減らす取組をしていく。高血圧のままいることで何ができるか、将来どうなるかイメージできる資料を提示していく。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1		1		1		1		1		1	
		重点事業	1		1		1		1		1		1	
理由		理由	特定健診を多くの方に受けていただき、リスクが高い場合は治療を開始し、生活習慣の改善につなげていく必要があります。受診率の向上に向けた取組を行う。		特定健診を受けてもらうことで、個々のリスクが初めてわかるので、受診率向上に向けた取組を行う。		特定健診を受けてもらうことで、個々のリスクが初めてわかるので、受診率向上に向けた取組を行う。		特定健診を受けてもらうことで、個々のリスクが初めてわかるので、受診率向上に向けた取組を行う。		特定健診を受けてもらうことで、個々のリスクが初めてわかるので、受診率向上に向けた取組を行う。		特定健診を受けてもらうことで、個々のリスクが初めてわかるので、受診率向上に向けた取組を行う。	

作成担当者	小穴 範子	小穴 範子	小穴 範子	神澤 活枝	神澤 活枝	神澤 活枝
最終評価責任者	両角 直樹	両角 直樹	依田 利文	依田 利文	平澤 精一	井出 弘
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月31日	2022年5月30日	2023年10月16日	2024年7月12日